



平成22年4月1日

各位

会社名 近畿日本鉄道株式会社  
代表者名 取締役社長 小林 哲也  
コード番号 9041  
上場取引所 東京・大阪・名古屋（第1部）  
問合せ先 経理部長 泉川 邦充  
TEL 06-6775-3465

（訂正）「平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況」の一部訂正について

当社は、平成22年3月12日公表の「過年度決算短信の一部訂正について」において、過年度に行われた不適切な経理処理の修正に伴い訂正した有価証券報告書等に対応する決算短信等の訂正を行い、それ以外の中間決算短信および四半期財務・業績の概況等についても後日必要な訂正を行う旨、お知らせしました。このたび、その具体的な訂正内容が確定いたしましたので以下のとおりご報告いたします。

訂正箇所を含むページについて訂正前と訂正後をそれぞれ添付し、訂正箇所には\_\_\_\_\_（アンダーライン）を付して表示しております。

## 記

### 1. 訂正を行う四半期財務・業績の概況

決算期 平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況  
発表日 平成19年8月10日

### 2. 訂正の経緯

訂正の経緯につきましては、平成22年3月12日公表の「当社連結子会社における不適切な経理処理に関する調査結果等について」をご参照ください。

以上



## 平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年 8月10日

上場会社名 近畿日本鉄道株式会社  
 コード番号 9041  
 代表者 取締役社長 小林 哲也  
 問合せ先責任者 経理部長 若井 敬

上場取引所 東証一部・大証一部・名証一部  
 URL <http://www.kintetsu.jp>

TEL (06)6775 - 3465

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

## (1)連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	208,492	2.6	15,689	6.7	10,251	8.3	4,527	37.9
19年3月期第1四半期	214,087	5.3	16,821	7.0	11,173	4.7	7,289	5.1
19年3月期	917,325	-	68,669	-	53,109	-	23,157	-

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円銭	円銭
20年3月期第1四半期	2.66	2.62
19年3月期第1四半期	4.31	4.23
19年3月期	13.64	13.42

## (2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
20年3月期第1四半期	1,809,922	174,940	9.1	96.91
19年3月期第1四半期	1,866,450	154,978	7.8	86.41
19年3月期	1,813,684	175,701	9.1	97.23



## 平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年 8月10日

上場会社名 近畿日本鉄道株式会社

上場取引所 東証一部・大証一部・名証一部

コード番号 9041

URL <http://www.kintetsu.jp>

代表者 取締役社長 小林 哲也

問合せ先責任者 経理部長 若井 敬

TEL (06)6775-3465

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	208,266	△2.9	15,610	△7.2	10,171	△8.9	4,481	△38.8
19年3月期第1四半期	214,399	△5.1	16,817	△6.8	11,170	5.2	7,318	△4.3
19年3月期	917,863	—	68,827	—	53,267	—	22,809	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	2.63	2.60
19年3月期第1四半期	4.32	4.25
19年3月期	13.44	13.22

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	1,806,154	171,888	9.0	95.12
19年3月期第1四半期	1,862,750	152,350	7.7	84.85
19年3月期	1,810,111	172,696	9.0	95.46

【訂正前】（2ページ）

近畿日本鉄道㈱（9041）平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
中間期	440,000	2.0	30,000	3.3	21,000	3.5	10,000	1.4	5.88
通期	910,000	0.8	65,000	5.3	50,000	5.9	23,000	0.7	13.52

(注)平成19年5月21日に公表しました中間期及び通期の業績予想の修正はありません。

(注)業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注)詳細は、3ページ「【定性的情報・財務諸表等】 3. その他」をご覧ください。

## 【訂正後】（2ページ）

近畿日本鉄道㈱（9041）平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

### 2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
中間期	440,000	1.9	30,000	3.5	21,000	3.7	10,000	4.2	5.88
通期	910,000	△0.9	65,000	△5.6	50,000	△6.1	23,000	0.8	13.52

(注)平成19年5月21日に公表しました中間期及び通期の業績予想の修正はありません。

(注)業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

### 3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注)詳細は、3ページ「【定性的情報・財務諸表等】 3. その他」をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、個人消費に伸び悩みが見られるものの、堅調な企業収益を背景に設備投資の増加や雇用情勢の改善が続き、全体として景気回復基調のうちに推移しました。当社グループにおきましては、運輸部門で鉄軌道事業が、名阪間や伊勢志摩方面への長距離輸送が好調に推移したことや、沿線各地における大型商業施設の開業効果等により増収となりましたが、主として流通部門で本年2月の近鉄百貨店京都店の閉店のほか、春先の天候不順による春物商戦の不振や初夏物の衣料品等の不調もあり減収となりましたため、売上高合計では、前年同期比2.6%減収の208,492百万円となりました。

次に、利益面におきましては、営業利益は運輸部門が鉄軌道事業での減価償却費やICカード関連費用等の増加により減益となったほか、流通部門やレジャー・サービス部門での減収に伴う減益もあり、全体では前年同期比6.7%減益の15,689百万円となり、営業外損益で持分法による投資損益は改善しましたが、経常利益では、前年同期比8.3%減益の10,251百万円となりました。特別損益や法人税等を加減した四半期純利益は、固定資産売却益の減等により、前年同期比37.9%減益の4,527百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、たな卸資産は増加しましたが、減価償却による有形固定資産の減や、資産処分等による繰延税金資産の減により、前期末に比し3,761百万円減少しました。また、負債も引き続き有利子負債の圧縮に努めましたため、前期末に比し3,000百万円減少しました。純資産は、四半期純利益の計上から期末配当の支払いを差し引き、前期末に比し761百万円減少しました。

### 3. その他

#### （1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### （2）会計処理の方法における簡便な方法の採用

一般債権の貸倒見積高を算定するにあたり、前期末の貸倒実績率を使用するなど、一部簡便な方法を採用しております。

#### （3）最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

（減価償却資産の減価償却方法の変更）

当第1四半期から、法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以後に取得した有形固定資産の減価償却の方法について、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。この変更による損益に与える影響は軽微であります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、個人消費に伸び悩みが見られるものの、堅調な企業収益を背景に設備投資の増加や雇用情勢の改善が続き、全体として景気回復基調のうちに推移しました。当社グループにおきましては、運輸部門で鉄軌道事業が、名阪間や伊勢志摩方面への長距離輸送が好調に推移したことや、沿線各地における大型商業施設の開業効果等により増収となりましたが、主として流通部門で本年2月の近鉄百貨店京都店の閉店のほか、春先の天候不順による春物商戦の不振や初夏物の衣料品等の不調もあり減収となりましたため、売上高合計では、前年同期比 2.9%減収の 208,266 百万円となりました。

次に、利益面におきましては、営業利益は運輸部門が鉄軌道事業での減価償却費やICカード関連費用等の増加により減益となったほか、流通部門やレジャー・サービス部門での減収に伴う減益もあり、全体では前年同期比 7.2%減益の 15,610 百万円となり、営業外損益で持分法による投資損益は改善しましたが、経常利益では、前年同期比 8.9%減益の 10,171 百万円となりました。特別損益や法人税等を加減した四半期純利益は、固定資産売却益の減等により、前年同期比 38.8%減益の 4,481 百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、たな卸資産は増加しましたが、減価償却による有形固定資産の減や、資産処分等による繰延税金資産の減により、前期末に比し 3,956 百万円減少しました。また、負債も引き続き有利子負債の圧縮に努めましたため、前期末に比し 3,149 百万円減少しました。純資産は、四半期純利益の計上から期末配当の支払いを差し引き、前期末に比し 807 百万円減少しました。

### 3. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

一般債権の貸倒見積高を算定するにあたり、前期末の貸倒実績率を使用するなど、一部簡便な方法を採用しております。

#### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(減価償却資産の減価償却方法の変更)

当第1四半期から、法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以後に取得した有形固定資産の減価償却の方法について、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。この変更による損益に与える影響は軽微であります。

## 4. 要約四半期連結財務諸表

## (1) 要約四半期連結貸借対照表

科 目	前 期 末 (平成19年3月31日現在)	当第1四半期末 (平成19年6月30日現在)	比 較 増 減 額	前第1四半期末 (平成18年6月30日現在)
( 資 産 の 部 )	百万円	百万円	百万円	百万円
流 動 資 産	388,669	392,442	3,772	379,586
現金及び預金	35,913	38,721	2,808	44,478
受取手形及び売掛金	33,428	33,501	72	34,478
たな卸資産	256,201	264,669	8,467	250,922
そ の 他	63,126	55,549	7,576	49,707
固 定 資 産	1,424,585	1,417,096	7,488	1,486,387
有形固定資産	1,242,657	1,238,977	3,679	1,294,581
無形固定資産	6,008	6,510	501	5,774
投資その他の資産	175,919	171,609	4,310	186,031
繰延資産	429	384	45	476
資 産 合 計	1,813,684	1,809,922	3,761	1,866,450
( 負 債 の 部 )				
流 動 負 債	630,907	685,348	54,441	657,134
支払手形及び買掛金	42,970	40,438	2,531	43,621
短期借入金	326,727	330,640	3,913	373,069
1年以内償還社債	100,762	130,762	30,000	70,860
そ の 他	160,447	183,506	23,059	169,583
固 定 負 債	1,007,075	949,633	57,441	1,054,337
社 債	311,460	281,060	30,400	381,822
長期借入金	496,966	472,808	24,158	454,650
そ の 他	198,648	195,764	2,883	217,864
負 債 合 計	1,637,982	1,634,982	3,000	1,711,471
( 純 資 産 の 部 )				
株 主 資 本	89,114	88,218	896	77,519
資 本 金	92,741	92,741	0	92,741
資 本 剰 余 金	27,164	27,165	0	23,856
利 益 剰 余 金	28,322	28,922	600	36,466
自 己 株 式	2,469	2,765	296	2,611
評価・換算差額等	76,316	76,604	287	68,751
その他有価証券評価差額金	9,815	10,262	447	10,445
繰延ヘッジ損益	111	86	25	28
土地再評価差額金	67,791	67,775	15	59,946
為替換算調整勘定	1,401	1,520	118	1,668
少数株主持分	10,270	10,117	152	8,708
純 資 産 合 計	175,701	174,940	761	154,978
負 債 純 資 産 合 計	1,813,684	1,809,922	3,761	1,866,450



## 4. 要約四半期連結財務諸表

## (1) 要約四半期連結貸借対照表

科 目	前 期 末 (平成19年3月31日現在)	当第1四半期末 (平成19年6月30日現在)	比 較 増 減 額	前第1四半期末 (平成18年6月30日現在)
( 資 産 の 部 )	百万円	百万円	百万円	百万円
流 動 資 産	385,743	389,305	3,562	376,108
現金及び預金	35,913	38,721	2,808	44,478
受取手形及び売掛金	30,453	30,280	△ 173	31,535
たな卸資産	256,322	264,788	8,466	250,387
その他	63,054	55,515	△ 7,539	49,707
固 定 資 産	1,423,937	1,416,464	△ 7,473	1,486,165
有形固定資産	1,242,286	1,238,614	△ 3,672	1,294,581
無形固定資産	5,946	6,455	508	5,774
投資その他の資産	175,704	171,394	△ 4,309	185,809
繰延資産	429	384	△ 45	476
資 産 合 計	1,810,111	1,806,154	△ 3,956	1,862,750
( 負 債 の 部 )				
流 動 負 債	630,339	684,631	54,292	656,061
支払手形及び買掛金	42,517	39,843	△ 2,674	42,608
短期借入金	326,727	330,640	3,913	373,069
1年以内償還社債	100,762	130,762	30,000	70,860
その他	160,332	183,385	23,053	169,523
固 定 負 債	1,007,075	949,633	△ 57,441	1,054,337
社 債	311,460	281,060	△ 30,400	381,822
長期借入金	496,966	472,808	△ 24,158	454,650
その他	198,648	195,764	△ 2,883	217,864
負 債 合 計	1,637,414	1,634,265	△ 3,149	1,710,399
( 純 資 産 の 部 )				
株 主 資 本	86,108	85,166	△ 942	74,891
資 本 金	92,741	92,741	0	92,741
資 本 剰 余 金	27,164	27,165	0	23,856
利 益 剰 余 金	△ 31,327	△ 31,974	△ 646	△ 39,094
自 己 株 式	△ 2,469	△ 2,765	△ 296	△ 2,611
評価・換算差額等	76,316	76,604	287	68,751
その他有価証券評価差額金	9,815	10,262	447	10,445
繰延ヘッジ損益	111	86	△ 25	28
土地再評価差額金	67,791	67,775	△ 15	59,946
為替換算調整勘定	△ 1,401	△ 1,520	△ 118	△ 1,668
少数株主持分	10,270	10,117	△ 152	8,708
純 資 産 合 計	172,696	171,888	△ 807	152,350
負 債 純 資 産 合 計	1,810,111	1,806,154	△ 3,956	1,862,750

## ( 2 ) 要約四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期	当第1四半期	比較増減額	比較増減率	前 期
	(自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)	(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)			(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
営 業 収 益	214,087	208,492	5,595	2.6	917,325
営 業 費	197,266	192,802	4,463	2.3	848,656
営 業 利 益	16,821	15,689	1,131	6.7	68,669
営 業 外 収 益	981	750	230	23.5	9,536
営 業 外 費 用	6,628	6,189	439	6.6	25,097
経 常 利 益	11,173	10,251	922	8.3	53,109
特 別 利 益	4,300	1,216	3,084	71.7	19,944
特 別 損 失	1,543	384	1,158	75.1	32,074
税金等調整前 四半期(当期)純利益	13,930	11,083	2,847	20.4	40,979
法 人 税 等	6,665	6,458	206	3.1	16,400
少数株主利益又は 少数株主損失( )	23	96	120	-	1,421
四半期(当期)純利益	7,289	4,527	2,761	37.9	23,157

## （2）要約四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期	当第1四半期	比較増減額	比較増減率	前 期
	〔自平成18年4月1日 至平成18年6月30日〕	〔自平成19年4月1日 至平成19年6月30日〕			〔自平成18年4月1日 至平成19年3月31日〕
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
営業収益	214,399	208,266	△6,132	△2.9	917,863
営業費	197,581	192,656	△4,924	△2.5	849,036
営業利益	16,817	15,610	△1,207	△7.2	68,827
営業外収益	981	750	△230	△23.5	9,536
営業外費用	6,628	6,189	△439	△6.6	25,096
経常利益	11,170	10,171	△998	△8.9	53,267
特別利益	4,300	1,216	△3,084	△71.7	19,944
特別損失	1,543	384	△1,158	△75.1	32,572
税金等調整前 四半期(当期)純利益	13,927	11,003	△2,924	△21.0	40,639
法人税等	6,632	6,425	△207	△3.1	16,408
少数株主利益又は 少数株主損失(△)	△23	96	120	—	1,421
四半期(当期)純利益	7,318	4,481	△2,837	△38.8	22,809

## （3）事業の種類別セグメント情報

前第1四半期(平成18年4月1日～平成18年6月30日)

(単位：百万円)

	運輸業	レジャー サービス業	流通業	不動産業	その他の 事業	計	消去又 は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	56,421	28,612	105,283	18,827	4,942	214,087	-	214,087
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,288	4,535	526	2,954	9,680	18,986	(18,986)	-
計	57,710	33,148	105,809	21,782	14,623	233,073	(18,986)	214,087
営業費用	46,092	32,107	104,164	20,094	13,844	216,303	(19,036)	197,266
営業利益	11,618	1,041	1,644	1,687	778	16,770	50	16,821

当第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(単位：百万円)

	運輸業	レジャー サービス業	流通業	不動産業	その他の 事業	計	消去又 は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	56,772	27,390	99,195	17,463	7,670	208,492	-	208,492
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,178	4,505	835	2,952	8,289	17,761	(17,761)	-
計	57,951	31,895	100,030	20,416	15,959	226,254	(17,761)	208,492
営業費用	46,578	31,452	98,821	18,786	14,911	210,550	(17,747)	192,802
営業利益	11,373	443	1,209	1,629	1,048	15,703	(14)	15,689

前期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位：百万円)

	運輸業	レジャー サービス業	流通業	不動産業	その他の 事業	計	消去又 は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	225,411	111,945	439,481	122,357	18,130	917,325	-	917,325
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	5,901	19,652	3,326	11,785	30,383	71,048	(71,048)	-
計	231,312	131,597	442,807	134,143	48,513	988,374	(71,048)	917,325
営業費用	189,647	128,233	435,747	119,318	47,048	919,994	(71,338)	848,656
営業利益	41,664	3,364	7,060	14,824	1,465	68,379	289	68,669

【訂正後】（6ページ）

近畿日本鉄道㈱（9041）平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

（3）事業の種類別セグメント情報

前第1四半期(平成18年4月1日～平成18年6月30日)

(単位：百万円)

	運輸業	レジャー・サービス業	流通業	不動産業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	56,421	28,923	105,283	18,827	4,942	214,399	—	214,399
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1,288	4,535	526	2,954	9,680	18,986	(18,986)	—
計	57,710	33,459	105,809	21,782	14,623	233,385	(18,986)	214,399
営業費用	46,092	32,421	104,164	20,094	13,844	216,617	(19,036)	197,581
営業利益	11,618	1,037	1,644	1,687	778	16,767	50	16,817

当第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(単位：百万円)

	運輸業	レジャー・サービス業	流通業	不動産業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	56,772	27,164	99,195	17,463	7,670	208,266	—	208,266
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1,178	4,505	835	2,952	8,289	17,761	(17,761)	—
計	57,951	31,670	100,030	20,416	15,959	226,028	(17,761)	208,266
営業費用	46,578	31,306	98,821	18,786	14,911	210,404	(17,747)	192,656
営業利益	11,373	364	1,209	1,629	1,048	15,624	(14)	15,610

前期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位：百万円)

	運輸業	レジャー・サービス業	流通業	不動産業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	225,411	112,483	439,481	122,357	18,130	917,863	—	917,863
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	5,901	19,652	3,326	11,785	30,383	71,048	(71,048)	—
計	231,312	132,135	442,807	134,143	48,513	988,912	(71,048)	917,863
営業費用	189,647	128,613	435,747	119,318	47,048	920,374	(71,338)	849,036
営業利益	41,664	3,522	7,060	14,824	1,465	68,538	289	68,827